



年頭に当たって

「絆」「つながり」が心の支えに



(全校集会の様子)

「新年あけましておめでとうございます」

クリスマスからお正月と続いた冬休みは、家族団欒の大切な機会でしたが、皆様、いかがお過ごしでしたでしょうか。ご家族お揃いで気持ちも新たに新年を迎えられたことと思います。

朝の全校朝礼室では、冬休みを元気に過ごした子どもたちが集合します。すでに新年あけの2日からは学校生活が始まっている現地校もあると聞きましたが、久しぶりに補習校に集まる子どもたちには、友達や先生に会え、この日を楽しみにして

きたことが伺えます。子どもたちは、今年をどのような年にしたいのでしょうか

さて、昨年は、日本は東日本大震災、原発事故と未曾有の多難な年となったことから、海外に暮らす私たちも、今年こそは日本も世界も「希望」に満ちた年になってほしいと願うばかりです。昨年末、日本の世相を表す漢字は「絆」が選ばれていますが、困難を乗り越え、復興・復旧に向け、人々が寄合い、励まし合い、共に支え合っている姿に大きく感動し、共感した言葉となっています。海外の国や人々からも様々な支援の手が差し伸べられました。私たちも何か支援ができないか、生徒会やPTA、先生方が取り組みを進めてきました。マイアミ補習校の子どもたちのがんばっている姿と励ましのメッセージを伝えた「被災地支援の寄せ書き」は、昨年末送付しましたが、送付先の校長先生は「多くの方との「つながり」が今の私を支えています。被災地にあって、「つながり」は希望であり、勇気であり、前に進む力を与えてくれました。「つながり」の大切さを教えてもらった一年でした」のメールをいただきました。私たちもこの「つながり」を今後も大事にしたいと思います。

補習校で学ぶ子どもたちには、他人の痛みや悲しみに寄り添って共感し、喜びを共有できる「心の優しさ」を育ててほしいと思います。又、海外で暮らしている得難い経験を生かし、よりグローバルな視野で世界の動きが見えるよう学習に励んでほしいと願っています。

現地校と補習校と両立の学校生活が再び始まりましたが、子どもたちには、自分なりの目標をしっかりと定め、今年も頑張りたいと思います。私も先生方も、子どもたちの成長への期待を込めて保護者の皆様方とともに頑張っていきたいと思えます。本年もよろしくお願いいたします。



先生の研修会(模擬授業)